



東京多摩スマイルワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17 (2023.7.1 東京多摩みなみクラブと東京町田スマイルクラブ合併)

2026年
7月号
(第37号)

今月のことば

『行雲流水(こううんりゅうすい)』『普勸座禅儀(ふかんざぜんぎ)』より(深尾香子 選)

(当クラブは多摩市社会福祉協議会、町田ボランティア連絡協議会の登録団体です)

今月の強調テーマ:キックオフ/PR(Public Relations: 広報)

2026~2027 年度 主題

クラブ会長 綿引康司「10周年、そして次の10年へ」
 東新部部长 深尾香子(東京多摩スマイル)「顔を上げよう!」
 東日本区理事 山下 真(十勝)「挑戦なくして進化なし」
 アジア太平洋地域会長 ラチャン・マニカーン(タイ)
 「アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる」
 国際会長 ヨハン・V・エルトヴィク(フィンランド)「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」
 《クラブ役員》会長 綿引康司 直前会長 伊藤幾夫
 書記 伊藤幾夫 会計 綿引康司 担当主事 鳩山徹郎

7月例会プログラム

日時: 7月7日(火) 19:00~20:30
 会場: 玉川学園コミュニティセンター
 (小田急線「玉川学園前駅」徒歩3分)
 会費: なし(夕食はありません)
 (オンライン Zoom での中継もあります)

《プログラム》

司会 石田孝次 受付: 伊藤幾夫

- *開会点鐘 綿引康司会長
- *ワイズソング
- *今月のことば 会長
- *ゲスト/ビジター紹介 会長
- *会長挨拶
- *今月のスピーチ
「現代社会における野外教育の意義」
担当主事 鳩山徹郎
- *連絡・報告
- *YMCA ニュース、各種アピール等
- *スマイル
- *ハッピーバースデー
- *YMCA の歌
- *閉会点鐘 会長

7月の Happy Birthday
 該当者がありません

巻頭言 「10周年、そして次の10年へ」

東京多摩スマイルワイズメンズクラブは、この7月17日に10周年を迎えることとなりました。2016年7月17日の旧東京多摩みなみクラブのチャーターがスタートです。この間、多くの方々にご支援を頂いたことにこの場をお借りして感謝を申し上げます。



10年前、ワイズは何をする組織なのかもわからず集まり、田中さん、伊藤さんにご指導いただき、農園での野菜作り、プランター野菜講座、東京YMCAとの関わり、そして多くの仲間を得て、どうかワイズメンズクラブの体を為すことが出来るようになりました。多くのクラブがメンバーの高齢化問題に直面するなか、まだ10歳の当クラブは当面活発な活動を続けることができることと思います。

しかし、私たちが10年経てば「10歳」歳をとります。70歳の方は80歳に必ずなります。多くの先輩クラブの課題は私たちの課題でもあることを常に意識すべきです。そこで、これからの10年をどのように活動すべきか。やはり地域に繋がること、YMCAを支えること、そして多くの仲間と協働し、地域や人に喜ばれる活動するという基本を忘れないことが大切だと思います。そうすればともに活動する仲間も集まると信じています。知恵を出し合い、ともに汗し、ここから始まる10年を素晴らしいものとしましよう。(会長: 綿引康司)

6 月 例 会	在籍15名 (内広義会員5名)	出 席 内 訳	メンバー 9名	BF切手 g(集計中) (今年度累計 g)	オークション 0円 (今年度累計 18,260円)
	出席12名		メーキャップ 0名		ぼんぼこファンド 6,900円 (今年度の累計 8,900円)
			出席率 90%		
			メネット 0名		
			ゲスト・ビジター3名		

6月例会報告

6月2日(火) 19:00 から、当クラブの6月例会がベルブ永山3階講座室で開催されました。スピーカーは、きこえの学校ライシャワー学園校長の瀬底正嗣さんでした。パワーポイントを使ってスピーチをされました。「1920年の開校以来、手話を使わずに、残された聴覚を最大限に活かす教育を続けている。

乳幼児期から補聴器や人工内耳という機械の助けを借りながら、子どものいのちの成長に寄り添う教育を実践しています。子どもと教師が毎日1対1で10分間の話を



をする、こころと思いのやり取りから、言葉が生まれることを感じます。無限の可能性のあることを信じて待つということ大切にしています」。1人ひとりの子どもたちを大切に育てる実践に感動を覚えました。2027年2月には、施設内に耳鼻科の開院を目指しているとのことでした。開設のためのクラウドファンディングも始めるということで、チラシをいただきました。これからもできる範囲で協力をしていきたいと思います。スピーチのあと、落合夏祭り、クラブ10周年、東日本区大会などの連絡がありました。ぼんぼこ農園で採れたニンニク、ジャガイモの販売もあり、完売しました(売り上げ3,100円)。

<出席者>石田、伊藤、田中、為我井、鳩山、深尾、藤田、峰、綿引<ゲスト>瀬底正嗣さん<ビジター>江口耕一郎さん(東京)、山本英次さん(ZOOM、東京八王子) 合計12名 (伊藤記)

6月第2例会(運営会議)報告

5月8日(月) 19:00 から、第2例会(運営会議)がZoomにて開催されました。会長挨拶のあと、6月例会報告、会計報告、ぼんぼこ農園報告、社協関連報告、10周年に向けての進捗状況(東京YMCAへの贈呈記念品は山手センター101号室掛け時計を候補とする)、東日本区大会でのタマネギ販売は19袋3,800円売り上げの報告。議案では、7月例会プログラム、ブリテン7月号割り付け、7月例会スピーカーとして、担当主事の鳩山徹郎さんに決定。また、8月スピーカーについては、部長公式訪問が予定され、外部のスピーカーは無しとなりました。落合夏祭りについては第3例会を設けて話し合うことになりました。オンラインプランター野菜講座は9/29(火)から隔週5回にわたり開催することを確認しました。また、東京町田コスモスクラブとの合同例会については、9月から奇数月に開催することを綿引会長と山口会長で話し合うことになりました。その他として、ベルブ永山のWi-Fi環境がよくないので、会場変更を検討し、候補として深尾さん宅があがりました。ぼんぼこ農園の管理担当についても意見交換がなされました。《出席者》石田、伊藤、田中、為我井、鳩山、深尾、綿引 計7名 (伊藤記)

東日本区大会報告

2025-2026年度東日本区大会が、6月6日(土)、宮城県石巻市河北総合センター「ビッグバン」で開催されました。今年の大会は、「瓦礫、命、感謝。次の未来へ!」とのスローガンのもと、東日本大震災から15年経った石巻の現状を見てもらい、その礎である人と人の絆を未来へと繋げていこうという趣旨の大会でした。特に代議員会と並行して開催されたユースの企画による新しい取組み「ユースの時間」は、ユースメンバー10名ほどが集まり、親睦が図られました。なお大会参加者数327名、当クラブからは、伊藤、田中夫妻、為我井、深尾、綿引が参加しました。また会の合間にはクラブ・ベスト着用で、ぼんぼこ農園の玉ねぎ販売も行いました。大会当日午前中には東日本区代議員会が開催され、年次報告・中間決算報告の承認、次々期理事の指名等の議事が審議されました。大会は、12時30分の吹奏楽演奏・バナーセレモニ



ーに始まり、以降開会式、メモリアルアワー、理事報告、各事業委員会報告、各表彰等が行われました。16時から「3.11追悼・復興祈念コンサート」となり、宮城県指定の「寺崎はねこ踊」や「ラテンミニコンサート」等のプログラムを楽しみました。閉会式後、場所を石巻駅近くのホテルへと移し、「晩餐会」が行われました。

そこではさとう宗幸さんの歌を聴き、各クラブから参加したワイズの皆さまと



楽しい交流の時を持ちました。私たちのテーブルには横浜つづきクラブの方々が一緒で、従前から交流がある皆様と楽しく歓談をしました。なお、今回当クラブは、「CS献金 貢献賞」「出席率優秀賞」「BF献金 貢献賞」「TOF献金 貢献賞」「グラッドスラム賞」の5件の表彰を受けたことも併せて報告します。(綿引記)

6月第3例会報告

6月15日(月) 19:00 から、Zoomで第3例会が開催され、落合夏祭りについての話し合いが持たれました(内容については3ページに記載)。《出席者》石田、伊藤、小島、田中、深尾、綿引 計6名 (伊藤記)

7月例会 スピーカー

鳩山 徹郎 さん
当クラブ担当主事



「現代社会における 野外教育の意義」

《プロフィール》

ウエルネス事業部のマネージングディレクターとして、キャンプや定例野外活動、キャンプ場運営の責任を担っています。

YMCA との出会いは中学生の頃で、参加者としてキャンプに参加しておりました。自然な流れの中でボランティアリーダーに、その後 2005 年にスタッフとして YMCA に入職しました。経堂にありました南センター、高尾の森わくわくビレッジ、国立の西東京センター、その後、北米のフロストバレーYMCA に出向し、帰国後は山手センターにて現在まで勤務しています。場所は変われど、概ね野外教育関係の仕事をしていただいています。

《スピーチの概要》

AI や SNS の急速な発達により、便利さが増す一方で、子どもたちが自ら考え、人と関わり、自然の中で試行錯誤する機会は減りつつあります。AI 時代に求められるのは、知識だけではなく、創造性や協働性、主体性など、人間ならではの力です。100 年以上にわたり野外教育を実践してきた東京 YMCA のキャンプを通して、これからの時代に野外活動が果たす役割と、その教育的価値について考えます。

落合夏祭り 助っ人大募集！当クラブ名物「カルビドッグ」の販売、今年もやります！

【出店先】第 47 回落合ふるさと夏祭り

【開催日】7/18 (土) & 19 (日) 2 日間。

【時間】13:00~20:00

(遅刻早退、応相談。綿引会長まで)

【会場】多摩市落合南公園 (多摩市落合 3 丁目 30)

【活動内容】①食材調達～下準備 ②模擬店の設営 or 撤去、③調理&販売

【集合】①11:00 深尾稽古場 (別途、詳細連絡)

②13:00 直接会場へ ③13:00 直接会場へ

【熱中症対策】以下を会場に揃えます。

氷、飲料、冷却グッズ、椅子多数、休憩の声掛け

【ひとこと】行列必至の大人気商品「カルビドッグ」

の目標は 550 本！今年も小島 (滝口) さん、峰岸さんの地元、落合地区の子どもたち、かつての子どもたちの笑顔に出会うために作ります。毎年、夏休み最初の週末を飾る伝統有る行事にご協力下さい！ (深尾記)

クラブ 10 周年について

すでにチラシ等でお知らせのとおり、クラブ 10 周年記念感謝会を 8 月 23 日 (日) 16:00~17:30、オンライン Zoom で開催します。申し込みは、下記の URL または QR コードからお願いします。未だの方はお早めをお願いします。申込締切は 8 月 16 日です。

<https://forms.gle/ApsrXUZako64KJkn8>

また、メンバーの方は記念誌の原稿を田中さんにお送りください。

(綿引記)



東京町田コスモスクラブ 30 周年に参加

6 月 27 日 (土) 11:00~14:00、町田ホテルヴィラにおいて、東京町田コスモスクラブ 30 周年が開催されました。台風が接近し、悪天候が心配されましたが、予定どおり開催されました。参加者は 32 名。東京町田コスモスクラブの DBC 宝塚クラブからも 4 名が参加されました。当クラブの参加は石田、伊藤、田中、為我井、深尾、峰、綿引の 6 名でした。第 1 部は、東京 YMCA 高等学院の生徒さんによるトーンチャイムの演奏がありました。

第 2 部は、スライドによって、東京町田コス



モスクラブの 30 年を振り返りました。東京町田コスモスクラブは、私たちのクラブにとってスポンサークラブです (当時は、東京まちだクラブ、東京コスモスクラブでした)。祝辞、挨拶のあと、会食・懇談。アトラクションとして、元東京目黒 YMCA のリーダー OB・OG によるギター伴奏で、キャンプソングをみんなで歌いました。東京町田コスモスクラブの山口会長も同 OB・OG なので、山口会長の呼びかけで、仲間が応援に駆けつけてくれたようです。ワイズと YMCA 元リーダーが一体となり、雰囲気が盛り上がりました。今までにない新しい光景を見ることができ、これからのワイズのあり方として、とても参考になりました。 (伊藤記)



ぽんぽこ農園便り

梅雨空の雨上がりのタイミングで、ぽんぽこ農園の様子を見てきました。ミニトマト、ナス、キュウリ、里芋たちがすくすく育っていました。ナスの花の澄み切ったすみれ色が目に飛び込んできました。葉っぱのサイズと色艶が、生育状況の勢いを見せてくれました。しかし、これに比べてナスの実



は小ぶりに見えました。品種のせいでしょうか、少し気になりました。一方、ミニトマトは、沢山の実が連なっており、収穫の時期になると実がオレンジ色に変わり、一層色鮮やかに映えでしょう。野菜は、葉っぱ、茎、花が見る側に多くのメッセージを伝えてくれます。こんな分かり

易い関係性が好きです。梅雨時の雨は、野菜たちの成長を促し、太陽、水、土が栄養素を運んでくれます。色鮮やかな変化を通じて、収穫のタイミングを知らせてくれます。このような自然のサイクルを見ていると心が癒され、日常の雑念や葛藤が浄化されます。食する前に自然からの恵みが実感できる瞬間であり、これが「野菜作りの意義」そのものなのだと思います。



(石田記)

東新部第1回評議会

下記のとおり開催します。

日時：7月23日(木)16:00～19:00

会場：東京YMCA山手センター

当クラブ出席者：深尾部長、石田会計、伊藤書記、
鳩山担当主事、綿引会長

今後の予定

7/7(火)7月例会 玉川学園コミュニティセンター

7/9(木)19:00～20:30 Y友広場 オンライン

7/13(月)19:00～20:30 7月第2例会 Zoom

7/14(火)18:30～東京・東京むかでクラブ合同例会
部長公式訪問

7/16(木)19:00～東新部会長会 オンライン

7/18(土)、19(日) 落合夏祭り

7/23(木)16:00～19:00 第1回評議会 山手センター

7/29(水)19:00～在京10クラブの会 オンライン

8/4(火)19:00～8月例会 ベルブ永山

編集後記

新年度を迎えました。8月23日(日)にはクラブ10周年記念感謝会を開催します。オンラインZoomで開催します。遠方の方も含めて、多くの方に参加していただきたいと思います。今年の夏は「酷暑日」も予想されています。どうぞ、お身体ご自愛ください。(i.i)

YMCA ニュース

担当主事 鳩山徹郎

YMCA 運動へのご理解、ご協力に感謝いたします。

★「インターナショナル・チャリティーラン 2026」例年9月に実施している障がい児支援を目的とした駅伝大会「[東京YMCAインターナショナル・チャリティーラン](https://tokyo.ymca.or.jp/news/2026/06/20260622-3.html)」。40回目となる今年は、駅伝大会とオンラインのハイブリット開催となります。駅伝大会は、9月26日に木場公園(東京都江東区)で開催、特設コース(約1.3km)を1チームで6周します。オンラインのウォーキング大会は、11月下旬～12月上旬の期間で開催します。チャリティーラン開催40周年を記念して、今年のウォーキング大会は、全国YMCAで一斉に実施することになりました。今年も多くの方にご参加いただけますようお願いいたします。

<東京YMCAニュース>

<https://tokyo.ymca.or.jp/news/2026/06/20260622-3.html>

★新規プログラムを7～9月にて開催予定★

・7月18日(土)～20日(月・祝)

東京YMCAプログラム登録者(プールや野外活動、語学登録者、児童館や学童登録者、在校生、在園生など)の家族を対象としたファミリーウィークエンド@山中湖センターを開催。一般よりも若干お安い料金にて参加いただけます。

・8月14日(金)～16日(日)

児童養護施設など社会的養護を担う施設を対象としたキャンプを開催。現地集合解散で、参加費は無料。夏のイベントとして、多くの施設でお招きの予定。資金は東京YMCAのフレンドシップファンド(プログラム参加費援助基金)から拠出予定。

・9月21日(月・祝)～23日(水・祝)

山中湖センターにゆかりのある皆さんがキャンプ場にて思い出を分かち合うリユニオンキャンプを開催。リーダーOBOGや会員、ワイズ、職員及びその家族、あるいはキャンプ参加者や日頃より山中湖センターにてプログラムを実施している団体の方にもご参加いただきたいと思います。今後、定期的にリユニオンキャンプを実施予定。

上記プログラムのお問合せ、お申込みは担当主事(鳩山@山手コミュニティーセンター)まで。

★今後の主な行事予定★

・「第21回世界YMCA大会」

7月19日～7月25日(カナダ・トロント)

・「外国にルーツのある子どものサマーキャンプ」

8月21日～23日(山中湖センター)

・「早天祈祷会」8月3日(山手センター/オンライン)

奨励：峰 毅氏(東京YMCA会員部運営委員・東京多摩スマイルクラブ)